

# オピオイド系鎮痛薬の持続注射に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター薬剤部では、研究課題「フェンタニル注<sup>®</sup>からオキファスト注<sup>®</sup>へのオピオイドスイッチングを行う際の当院におけるオピオイド換算比の現状と鎮痛効果の評価」を行うことになりました。

この研究の目的は、がんの患者さんの疼痛コントロールの状況について調べ、現状のオピオイド系鎮痛薬による疼痛コントロールの問題点について明らかにすることです。

この研究のため、2020年6月20日より2024年10月31日までに治療した方の診療録、オピオイド系鎮痛薬等の調査を行います。対象となるのはオピオイド系鎮痛薬注射液の変更を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報(既往歴や疼痛の程度)のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年 12月

研究責任者

東京医療センター 薬剤部

武井 颯

連絡先 03-3411-0111(代表)